

学道一如

発行 小樽双葉高校
新聞部
2026年5月20日
第12号

野球部 準決で俱知安に惜敗

第65回春季北海道高等学校野球大会小樽支部予選がエムデジ桜ヶ丘球場で開催され、本校は二回戦、小樽未来創造に11-0（5回コールド）で勝利し、準決勝で俱知安に1-3で惜敗した。主将の長崎佳祐くん（3-2）に大会を振り返ってもらった。



高橋渉太くんピッチング



↑吹奏楽部も懸命に応援
→長谷川監督から檄が飛ぶ

夏の大会までに底上げを
長崎くんは未来創造戦について「ピッチャーの平野義人くん、能登丈偉くん（5回）がテンポ良く投げ、攻撃にリズムができて、快勝できた」と語った。準決勝は近藤琉唯斗くんが6回まで投げ、高橋渉太くんに継投した。「俱知安には昨年、先輩が敗れ、リベンジをという思いで戦ったが、相手校の一球への

▼2回戦（5月14日）

	1	2	3	4	5	計
小樽未来創造	0	0	0	0	0	0
小樽双葉	5	2	0	4	×	11

投手 捕手 平野・能登（5回）-鶴來
2塁打 大日方
▼準決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
俱知安	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3
小樽双葉	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

投手 捕手 近藤・高橋（7回）-鶴來

高体連
バレー部 支部大会で2位、全道へ
バレー部は高体連支部大会で俱知安、小樽潮陵、小樽未来創造、小樽桜陽の4校と対戦し、準優勝して全道大会出場権を獲得した。

小樽潮陵、小樽未来創造、小樽桜陽の3校には2-0のストレート勝ちしたが、俱知安には0-2で敗れた。主将の池田唯莉さん（3-1）は花立知世子さん（3-1）と戦った。寺田さんは「落ち着いていつも通りに射ることを心がけ、動きが小さくならないように気をつけた」という。全道大会は札幌のきたえーるで行われる。3位は8射4中で花立知世子さん（3-1）が、後半、蜂が顔の周りでブンブンして、集中力が切れてしまった。既に2段を取得しており、3段目指して鍛錬する。

打順	氏名	守備
1	清野寛太（3-3）	レフト
2	横溝太牙（3-4）	ライト
3	菊地琉斗（3-3）	DH
4	大日方瑛滋（2-2）	サード
5	鶴來莉玖（3-2）	キャッチャー
6	館飛雄真（3-3）	センター
7	光股歩叶（3-4）	セカンド
8	加賀谷季希（3-4）	ファースト
9	山下智嗣（2-4）	ショート

高体連 弓道部 支部大会 女子 寺田らんさん2位、全道へ

弓道部は高体連支部大会、団体戦で4校中、男女共に3位となった。個人戦では女子、寺田らんさん（2-4）が2位になり、全道大会出場権を得た。3位には花立知世子さん（3-3）が入った。



女子個人2位
寺田らんさん

男子団体「練習の成果出せた」

男子団体は小樽水産に勝利し、小樽桜陽と小樽潮陵に敗退した。山村総司くん（3-3）は「試合には負けたが、楽しかった。」

女子団体「調子上がらず」

女子団体は小樽水産と岩内の合同チームに勝利したが、小樽桜陽、小樽潮陵には敗れた。メ

女子個人戦で2位、3位に

個人戦では寺田らんさん（2-4）が8射5中で2位に入り、全道大会出場権を得た。優勝した桜陽の生徒と同中で、射貫き

となった。寺田さんは「落ち着いていつも通りに射ることを心がけ、動きが小さくならないように気をつけた」という。全道大会は札幌のきたえーるで行われる。3位は8射4中で花立知世子さん（3-1）が、後半、蜂が顔の周りでブンブンして、集中力が切れてしまった。既に2段を取得しており、3段目指して鍛錬する。